

# 消費地情報

和歌山県農業協同組合連合会 大阪事務所 岩上 郁仁



## 1 はじめに

年末年始の需要期は、みかんを中心に消費の拡大が見られたものの、1月以降は、全般に単価高による消費の低迷が見られました。

2月10日から中国の旧正月「春節」を迎え、日本への渡航客は増加し、観光目的の消費が好調となっています。

青果物の飲食店向けの消費はやや回復しているものの、小売店の店頭価格が高く、依然として厳しい環境が続いています。

このことから、消費の拡大には新たな販促活動・企画提案が必要となっています。

今回は、当管内で、重点卸売会社・重点特約店と連携・協力し、実施した本県産青果物の消費拡大を紹介します。



試食宣伝販促の様子

## 2 試食宣伝販売

新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたことで対面での試食宣伝販売が可能となり、各量販店はこぞって試食宣伝販売を再開しました。再開後、消費者の試食離れが懸念されましたが、以前同様に売り場は活気を取り戻しています。

1月は果実では下津蔵出しみかんを中心に、野菜では味の素のレシピを使用した布引大根の試食宣伝販売を実施しました。



下津蔵出しみかんの試食宣伝販売



布引大根の売り場



布引大根の試食宣伝販売



和歌山フェアの様子

### 3 和歌山フェアの開催

温州みかんや富有柿、大根や豆類など県産青果物の出荷が増加する時期に、量販店において和歌山県産コーナーを設け、「和歌山フェア」を開催することで、本県産青果物のPRと消費拡大に取り組みました。

併せて、阪神百貨店梅田本店（11/18）と、ダイエー西宮店（兵庫県）（12/2）にてイベントを開催しました。

内容は、県産青果物の販売に加え、有田みかん大使・王子による有田みかんのPR、ガラガラ抽選会や着ぐるみの登場などにより、県産青果物のPRと消費拡大につなげました。



有田みかん大使によるPR

### 4 プレゼントキャンペーンの実施

県産農産物消費宣伝『ココ・カラ。和歌山』の取り組みとして、平和堂124店舗にて、「美甘娘を食べようキャンペーン」を実施しました。店頭での告知や、商品へのチラシ封入により、累計で前年を上回る応募があったことで、県産農産物の認知度向上と和歌山ファンの獲得につなげることができました。

**JAありだ AQ中央選果場 バイヤーいち押し企画**

## 美甘娘を食べよう キャンペーン

アンケートにご協力いただきましたお客様に抽選で...

**平和堂商品券 3,000円 プレゼント!!**

抽選率 100% (当選必至)

**キャンペーン応募要項**

- キャンペーン期 2023年12月1日(金)～2023年12月31日(日)
- 応募締切 2024年1月10日(水)当日消印まで有効
- 賞品 平和堂商品券3000円分～100名様
- 対象エリア 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 福井県
- 応募方法 この用紙のご記入欄に必要事項、アンケートをご記入いただき郵便はがきに貼り付けて郵送してください。
- 当選発表 厳正な抽選の上、賞品の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。
- 応募先 〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-4-100 大坂弁天町郵便局 和歌山県農業協同組合連合会 平和堂 美甘娘を食べようキャンペーン事務局
- ご注意 本キャンペーンは抽選です。抽選を除く●本キャンペーンの出発点は抽選開始時刻です。抽選開始時刻より本キャンペーン事務局までご連絡ください。抽選開始時刻以降は抽選開始時刻以降の抽選結果は本キャンペーン事務局で発表いたします。●抽選開始時刻以降の抽選結果は本キャンペーン事務局で発表いたします。●抽選開始時刻以降の抽選結果は本キャンペーン事務局で発表いたします。
- 問い合わせ先 キャンペーン事務局 06-6469-7690 受付時間/10:00～12:00 13:00～17:00(水土日祝12/29～1/5を除く) ※抽選開始時刻は本キャンペーン事務局にてお知らせいたします。その他のキャンペーンに関するお問い合わせは、各店舗の担当窓口へお問い合わせください。本キャンペーンは抽選開始時刻以降の抽選結果は本キャンペーン事務局で発表いたします。



## 5 和歌山県産農産物を使用したスイーツの提供

2月から本格化する本県産うすいえんどうと中晩柑類の販売に合わせて、2月21日（水）に東果大阪㈱直営の八百屋&カフェ「i c h i c a」にて豆ご飯とデコポンの試食宣伝販売を実施するとともに、併設カフェでは「和歌山県産うすい豆のずんだパフェ」、「デコポンと八朔のパフェ」等の県産農産物を使用したスイーツを提供しました。若年層の女性客が多く、うすいえんどう独特の風味やデコポン、八朔の甘酸っぱさが特に好評でした。

今後も、i c h i c a では旬の県産青果物を使用したスイーツを開発し、スイーツを通じて和歌山県産のファン作りに取り組みます。



和歌山県産うすい豆のずんだパフェ



デコポンと八朔のパフェ

## 6 販促活動の今後の取り組み

各量販店において試食宣伝販売が再開した事で、デモンストレーター（販売員）の確保が困難になっています。そのため、デジタルサイネージやSNSの活用など試食宣伝販売と併せて多様な情報発信が重要になってくると思われます。

また、試食宣伝販売に関しては、近年トレンドとなっている洋食メニュー等の新たな切り口での提案が重要となってきます。今後も食の多様化に対応していくためには、より幅広い層の食卓をイメージした販促を実施していきます。

## 7 おわりに

コロナ禍や日用品の値上げに加え、肥料をはじめとした生産資材の高騰や運賃の値上げなど、生産から流通までのコストが上昇しており、農業経営は年々難しくなる一方かと思えます。

今後も、重点卸売会社・重点特約店を中心に県産農産物消費宣伝『ココ・カラ。和歌山』の提案を強化し、状況に応じた効果的な販促活動を実施することで、有利販売に導くとともに、県産青果物の消費拡大と和歌山ファンのさらなる獲得につなげたいと考えます。